

令和3年度 第1回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時 令和3年7月19日(月) 午前10時から正午まで

場所 中央福祉センター2階 多機能室

出席委員 津金美智子、伊藤龍仁、南千景、高田由紀、衣川友紀、関根聖美、齋藤由美、牛田由美子、早川真理、早川里美、熊谷豊、井上晴子

欠席委員 なし

事務局 子ども未来部 川本部長  
子育て支援課 棚瀬課長、荒川課長補佐、宮下主査  
こども課 村瀬補佐、久保係長

傍聴可否 可

傍聴有無 なし

<次第>

- 1 あいさつ
- 2 自己紹介
- 3 議題  
第2期子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて
- 4 その他

<議事録要旨>

- 1 あいさつ  
【委員長】(あいさつ)  
【事務局】(あいさつ)
- 2 自己紹介  
【委員長】(自己紹介)  
【各委員】(自己紹介)  
【事務局】(自己紹介)
- 3 議題 第2期子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて  
【事務局】(第2期子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて説明)  
  
【委員長】令和2年度の委員会にて、事業計画に係る202事業のうち50事業を選定し、令和3年度から新しい評価シートにて、令和2年度の事業実績を評価することとしています。各委員から、新評価シートの基本目標1から基本目標6まで順に、まず基本目標1「子育てと社

会参加の両立ができる環境づくり」から意見をいただきたいです。その前に新評価シートの見方について各委員から質問を受けたいと思います。新評価シートでは、アウトプット指標、アウトカム指標が新しく追加されました。それぞれ実数値等が示されています。例えば基本目標1個別目標1「就学前児童の教育・保育ニーズへの対応」の事業「認定こども園整備支援」について、アウトカム指標名に工事費補助金総計が示されていますが、工事費が適正な金額かがわかりづらいため、どのように評価シートを見たらよいのでしょうか。

【事務局】「認定こども園整備支援」のアウトプット指標名について、認定こども園整備実施数としており、令和2年度指標データを1園実施としていますが、幼稚園から認定こども園に認定を変更した1園に要した改修工事費に対する補助金の交付額をアウトカムにて示しています。

【委員】その他基本目標1個別目標1で質問のある委員はいますか。

【事務局】補足ですが、各関係各課から令和2年度の実施にあたりアウトプット指標、アウトカム指標を設定しておりますが、各事業の指標を本委員会にて意見をいただき、より計画の実施に適切な指標にするための検討をしたいと考えています。

【委員長】続いて、基本目標1個別目標2「多様で質の高い保育園サービス等の充実」の評価シートに意見がある委員はいますか。

【委員】「新：幼児教育アドバイザーの配置」事業について意見です。本事業の目的の他、各関係機関似たことをやっていますが、各関係機関のアドバイザーとの連携を意識することは大事であると感じています。

【委員長】そのような関係機関が集まる場は現在ありますか。

【事務局】本事業は巡回支援により各園にアドバイスを行っていくことが目標としております。各関係機関の連携ということを加味する指標に改めるとすることも検討できると考えます。

【委員】「小規模保育事業」について質問です。令和2年度アウトカム指標データが0.97としていますが、具体的に小規模保育事業所園児数及び民間認可保育所定員の数値が出ていないことと、算出式に示されている100を掛けていないと思われます。

【事務局】小規模保育事業所園児数は122人、及び民間認可保育所定員が126人です。パーセント表示でわかりやすい標記に改めます。

【委員】アウトカム指標の算出式の分母について、民間認可保育所定員としていますが、分子が小規模保育事業所の園児数としている意味を教えてください。

【事務局】分母の記載につき誤りであるため「小規模保育事業所定員」と改めます。

【委員】基本目標1個別目標1の事業「民間認可保育所支援」について、アウトカム指標算出式の分母について、民間認可保育所定員は正しいですか。

【事務局】正しいです。

【委員】基本目標1個別目標1の事業「民間認可保育所支援」の小規模保育事業所は含まれていますか。

【事務局】含まれていないので、小規模保育事業所を含むよう改めます。

【委員】基本目標1個別目標2の事業「新：幼児教育アドバイザーの配置」のアウトカム指標データから公立及び私立の保育水準を同水準に実施できたか評価しづらいと感じます。また、同水準という表現では水準以下のものを引き上げたという印象を受けるため、事業目的に合った保育の質を高める等、記載内容の変更を検討してもよいのではないのでしょうか。また、具体的に巡回内容を記載してもよいのではないのでしょうか。

【事務局】検討します。

【委員】基本目標1個別目標2の事業「新：幼児教育アドバイザーの配置」の分析評価について、保育の質の担保として、その基準を指標データから読み取れると良いと感じます。

【委員長】基本目標1個別目標3及び4について意見はありますか。

【委員】基本目標1個別目標3「小学生の放課後の居場所づくりの充実」の各事業のアウトプット指標データについて、3事業とも定員数や児童数、事業所数を充実させるという意味ですか。

【事務局】お見込みのとおりです。

【委員】基本目標1個別目標4の事業「ファミリー・サポート・センター事業」の分析評価について、「援助会員の増加が課題である。」とされていますが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少はありましたか。

【事務局】活動件数について、令和元年度は6,236件、令和2年度3,795件であり、2,441件の減少となっています。

【委員】会員の利用が目的であると思うため、利用実態を指標データや分析評価に記載していただきたいです。

【事務局】アウトカム指標について、利用実態がわかるものに改めるよう検討します。

【委員】分析評価において、コロナ禍であっても使いやすいサービスの展開を願っています。

【委員長】続いて、基本目標2「すべての子育て家庭を支援する仕組みづくり」個別目標1「地域における子育て支援サービスの充実」について意見はありますか。

【委員長】基本目標2個別目標1の事業「子育て支援センター（子育て総合支援センター）」の相談件数について分析としてどのように考えられるでしょうか。

【委員】基本目標2個別目標1の事業「子育て支援センター（子育て総合支援センター）」のアウトカム指標データが0.01と基本目標3個別目標3の「子育て世代包括支援センター（ひよこテラス）基本型」事業のアウトカム指標データが0.01と同値であり、その2事業を分析評価するにあたっての整理が悩ましいところですが、基本目標2個別目標1の事業「子育て支援センター（子育て総合支援センター）」の業務のうち、地域子育て支援拠点事業に対しての相談と評価するならば気軽に相談できる場所として相談件数が多いと良いと評価できると考えられます。

【事務局】令和2年度につきん子育て総合支援センターの月別報告のうち生活習慣、発達、生活環境等の種別相談が延べ310件、全体利用人数が延べ22,832人でした。パーセンテージに直すと令和2年度が1.36%、令和元年度が1.82%でした。全体利用人数から相談割合を出しています。

【委員長】続いて基本目標2個別目標2「子育て相談・情報の充実」、個別目標3「経済的な支援の継続」の意見はありますか。

【委員】基本目標2個別目標2の事業「新：子育てアプリ」の新規登録者数は増えてきていますか。PRの工夫はどのようにしていますか。

【事務局】増やすためのPRとして母子健康手帳交付時に案内を渡したり、月1回委託業者と打ち合わせにより登録者数を増やす手法を考えています。コロナ禍においての子育ての情報や、につきん子育て総合支援センターからの情報等、今後も継続して子育て支援の情報をリアルタイムで発信したいと考えます。

【委員】アウトカム指標の登録者数の年齢構成を教えてください。

【事務局】保護者を含めた0歳から100歳までの登録者数を合計しています。未就学児の世帯を狙いとしています。

【委員】登録者数が年齢別の登録者数の合計では、子育て世帯を狙った指標としてわかりづらいのではないのでしょうか。

【事務局】 求める階層の登録率等に改めるよう検討します。

【委員】 基本目標2個別目標3の事業「子ども医療費助成制度」のアウトカム指標データについて、令和2年度の一人当たりの年間支給(公費負担額)が32,995円となっていますが、金額だけで評価するのであれば、公費負担が適正かどうかわかりにくく感じます。例えば、年毎の上下が見えてくるとわかりやすいと思います。

【事務局】 令和元年度は38,256円となっています。ただし、入院医療費について令和3年度から新たに18歳到達の年度末まで無料になり、今後公費負担としての適正なアウトカムをどのように設定するのが課題と考えていますが、分析評価の観点から、対象年齢の拡大を行ったことで目標達成に近づいたと考えられます。

【委員長】 基本目標3「安心して出産し、母子とも健康に暮らせる環境づくり」個別目標1「安心な妊娠・出産への支援」、個別目標2「子どもや母親への健康支援」、個別目標3「子どもの成長に合わせた切れ目のない支援の推進」について、意見はありますか。

【委員】 個別目標2の事業「養育支援訪問」及び「新：産後ケア事業」、個別目標3の事業「子育て世代包括支援センター(ひよこテラス)母子保健型」の3事業のアウトカム指標名が「特定妊婦のフォロー率」として同じものが設定されていますが、事業の評価上、より適切なものに改めるよう再検討をお願いします。

【事務局】 担当課と調整し、検討します。

【委員】 個別目標1の事業「産婦健康診査」のアウトカム指標式が実数になっているので、非常にわかりやすいと感じます。その他のアウトカム指標に関する実数が掲載されていると根拠がわかりやすいです。

【事務局】 その他元となる分母分子を標記として追記するよう検討します。

【委員】 個別目標2の事業「乳幼児健康診査」のアウトカム式から算出した「幼児検診における経過観察が必要と把握した数」として485人が掲載されていますが、式にあるとおり1歳半児及び3歳児を合計した人数ですか。

【事務局】 お見込みのとおりです。

【委員】 合計する場合、発達の気になるお子さんのフォローがどこまで行えているのか見えにくいいため、1歳半児及び3歳児の人数を分けて掲載したほうが良いと考えます。また、実施率も大事であると考えます。

【事務局】 検討します。

【委員長】 基本目標4「子どもの学びと育ちを親と共に促すまちづくり」個別目標1「子どもの権利を尊重する地域社会の形成」、個別目標2「充実した学校生活を実現するための環境整備」、個別目標3「子どもと親が育ちあう機会の充実」、個別目標4「子育てを支える都市環境の整備」、個別目標5「子どもの権利侵害に関する対応」について意見はありますか。

【委員】 個別目標1の事業「条例の普及」の令和2年度アウトプットデータが「実施」となっており、アウトカムデータが1事業とあります。その分析評価が条例を周知、啓発を行うことができた理由や効果を掲載していただきたいと考えます。イベントを行ったからといって周知できたということではなく、地道な取り組みを継続することは大事であると思います。

【事務局】 令和元年度に愛知学院大学法学部生により条例の啓発事業として説明やグループディスカッションにより実施しましたが、令和2年度はコロナ禍により日進市立図書館展示ブースにて条例に関するパネル展示を行いました。

【委員】 個別目標3の事業「児童館利用事業」の令和2年度分析評価によりますと、利用見合わせをされた方が多かったと記載されていますが、会館状況や利用規制状況を教えてください。子どもたちが利用しにくい状況が何かを把握し、子どもたちが行きたくなる児童館を考えられるような指標や分析評価にするとよいと考えます。

【事務局】 個別目標3の事業「児童館利用事業」のアウトプット指標「児童館の来館者数」について、令和元年度の延べ利用人数は約69,000人でした。令和2年度の23,309人と比較して大幅な落ち込みがありました。日進市の児童館は各福祉会館の中にあり、各福祉会館本体が新型コロナウイルス感染症拡大による休館の影響がありました。

【委員】 休館の影響下で児童がどのように過ごされているのか、行政として早急に把握をし、利用活気策を立ててバックアップをしていただきたいと思います。

【事務局】 担当課と連携を取り、検討します。

【委員】 個別目標3の事業「児童館利用事業」のアウトカム指標「児童館を個人で利用した人数」について午前に親子で利用した人数と午後に児童単体での利用数などに分ける等、児童館で誰がどのように過ごしたかが見えにくいと感じました。また、放課後子ども教室の利用も昨今増えており、児童の放課後の過ごし方が分析評価で見えてくると良いと考えます。

【委員】 個別目標2の事業「補助教員の配置」の令和2年度アウトプット指標データ「配置者数」が60人ですが、その内訳は補助教員のみですか。その場合、教員に限定してしまうと学習支援に特化している印象が強く、その他特別支援学級の支援等様々な立場で関わりを持っている方もいるため、環境整備という観点であればアウトプット指標名を「補助教職員の配置」と

改めると良いと考えます。

【事務局】現在の計画上、「補助教員の配置」の内容として学習指導講師、少人数指導講師等と表記しておりますので、アウトプット指標名を改めるのではなく、補助教員の定義を担当課と調整します。

【委員】個別目標2の事業「交通指導員」について、令和2年度アウトカム指標「登下校中の交通事故件数」が5件ですが、分析評価は安全に通学することができるとするならば、0件もしくは前年度から比較して事故件数が減ったという評価に改めると良いと感じます。

【事務局】前年度と比較して分析評価を改めたいと考えます。

【委員長】基本目標5「すべての子どもの心と身体の健全な発達を支援する仕組みづくり」個別目標1「児童虐待の発生予防の推進」、個別目標2「要保護児童等へのきめ細かな対応」、個別目標3「障害児、発達障害児等への支援」、個別目標4「不登校児童等への支援」、合わせて基本目標6「子どもが輝く未来の実現に向けた仕組みづくり」個別目標1「教育の機会の均等」、個別目標2「健やかな成育環境の整備」、個別目標3「支援体制の充実」、個別目標4「ひとり親家庭への支援」について意見はありますか。

【委員】基本目標5基本目標1の事業「DV防止計画の推進」の分析評価において、令和2年度は新型コロナウイルス感染症に関連したDV防止啓発をホームページ等で5件啓発したということでしょうか。

【事務局】①広報誌にて「女性に対する暴力をなくす運動」の期間にDV防止に関する記事の掲示を行いました。②DV防止に関する展示を図書館でしました。③リーフレットを講座、イベントで配布しました。④新型コロナウイルス関連の市のHPでDV相談一覧として掲載しました。⑤市民協働課窓口においてDV防止啓発のポケットティッシュの配布等を行いました。

【委員長】啓発内容を示していただくとわかりやすいと感じました。

【委員】基本目標6個別目標1の事業「子どもの学習・生活支援事業」を評価するにあたって、アウトプット指標データを実施の有無とするより、個々の子どもの状況や家庭の事情等に丁寧に対応できたかどうかが重要であると感じます。

【事務局】本事業は令和2年度から子どもの学習・生活支援事業を始めており、事業の中で高校入学の受験をされた方が6名、第1志望の合格が5名、第2志望の合格が1名という成果がありました。

【委員】基本目標5個別目標1の事業「DV防止計画の推進」のアウトカム指標名が「【男女平等に関する市民意識調査】DVという言葉について、意味・内容を知っている人の割合」となっ

ていますが、DVの専門相談先ではない施設でもDVの相談を受けており、相談者からは、どこに相談したらよいかわからないと言われます。DVに関する相談先がどこかという啓発が大事であると考え、指標の再検討をお願いしたいです。

【事務局】DV被害者からの声があがりづらいという観点もあり、各関係機関が連携をし、対応をしていきたいと考えております。

【委員長】基本目標1から基本目標6まで、評価シート全体の補足はありますか。

【委員】体系別の評価シートを事業ごとに個別に行うことも重要であります、このように細分化していくことで木を見て森を見ずになってしまうため、事業全体を通した総合的な危機感を行政として把握し、どこに手当が必要なのか事業全体の中で読み取る必要があると考えます。また、都道府県の児童相談所に関する養護児童について、日進市の住民票になる方が、もし委託となった場合、日進市が委託先の里親及び児童を把握は可能でしょうか。家庭的養育推進の施策の中で、里親の拡大に非常に力を入れていますが、従来の施設ではなく、地域の住民として擁護児童が増えていくと、里親からの相談も増えますので、日進市として養護児童及び里親のフォローアップも課題だと考えます。

【事務局】児童手当の届出において把握はでき得ると考えます。

【委員】民生委員の新生児訪問について、不慣れな方もいるため訪問先の母親を不快な思いをさせ傷ついてしまう場合もあります。個人情報の問題もあると思いますが、保健センター等、関係機関との情報共有ができると望ましいと考えます。また、相手から様々な相談を受けた際、適正な相談先を紹介できるように情報共有ができると望ましいと考えます。

#### 4 その他

【事務局】日進市未来をつくる子ども条例に関する事業の実施状況について、財務政策課の取組である「公立保育園維持整備事業」が2020年度こども環境学会自治体施策賞を受賞した旨の報告(子ども権利条例にもとづく園児向け工事説明会の取り組み)

【委員長】他に無ければ、以上で令和3年度第1回子ども施策推進委員会を終了します。

(閉会) 正午